



こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けを行ってください。安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

### 取り付けかた(つづき)

#### 7. 前板および幕板の取り付け

下記手順に従い、必ず前板を先に取り付けください。幕板を先に取り付けたら前板が取り付けられない場合があります。

1 前板をセットします。  
本体左右の前板固定金具を内側に開いた状態にし(図7-1①)前板上部を本体のフックに引っ掛けます(図7-1②)。

2 前板を下ろします。  
前板を矢印の方向に下ろし(図7-1③)、下りきった状態で上にスライドさせます(図7-1④)。2ヶ所の前板引掛け部が本体のツメに引っ掛かり、下側の前板固定部がはめ込まれます(図7-1⑤)。

3 前板を固定します。  
前板固定金具を下ろしてロックします(図7-1⑥)。

4 コネクタを接続します。  
差し込む際はコネクタの向きに注意してください(図7-1⑦)。

**お願!**  
コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードファンが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

5 幕板を取り付けます。(図7-2)

1 幕板締付金具(左右各1ヶ所)のねじをゆるめ、幕板前から差し込みます。

2 幕板の取付位置を決めたら、幕板締付金具のねじを締め付けて固定します。

#### 8. 本体部品の組み立て

イラストは説明のため前板を省略してあります。

1 パツフルパネルを取り付けます。(図8-1)

1) パツフルパネルのツメ2ヶ所を本体の引掛け部に引っ掛けます。

2) ねじで固定します。

2 整流板を取り付けます。(図8-2)

1) 整流板下側を両手で支えるように持ち、整流板引掛け金具を本体上側左右にある整流板吊り金具に引っ掛けます。

2) 整流板左右下側のだるま穴を本体のローレットねじ2本に合わせ、ねじを上へスライドさせてからしっかりと締め付けます。

**お願!**  
ローレットねじは電動工具で締め付けしないでください。ねじが破損するおそれがあります。

3 オイルバックを取り付けます。(図8-3)

本体底部の長穴にオイルバックの突起を差し込み、オイルバックの前面を確認して左にずれた方向へ90度回転させて固定します。

#### 9. 電気配線

**警告**

修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと  
発火・感電したり、異常動作しけがをすることがあります。

交流100V以外では使用しないこと  
火災・感電の原因になります。

電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと  
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

アースを確実に取り付けること  
故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 15A 125Vをご使用ください。コンセントは電源コードの長さを考慮し、幕板のサイズに合わせて図の範囲内に設置してください。(図9-1)

必ずアース(D接地工事)をしてください。アース線の位置は下図を参照してください。(図9-2)

アース線は取付作業側にて手配してください。電源プラグをコンセントに差し込み、ブレーカを「入」にします。

**お願!** 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。

電気配線

1) アース線をアースターミナルに接続します。(図9-3)

ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています。)

2) 電圧が100Vであることを確認してからコンセントに電源プラグを差し込み、ブレーカを「入」にします。

#### 10. 試運転

**注意**

運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと  
けがのおそれがあります。

各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。運転時、各通風の排気が正しく行われていることを確認してください。異常な騒音、振動がないことを確認してください。屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。取り付けまたは施工上発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

#### 11. お客様への説明

取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

同時給排タイプ 相違点のみを記載しています。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けを行ってください。

### 取り付けかた(同時給排タイプ)

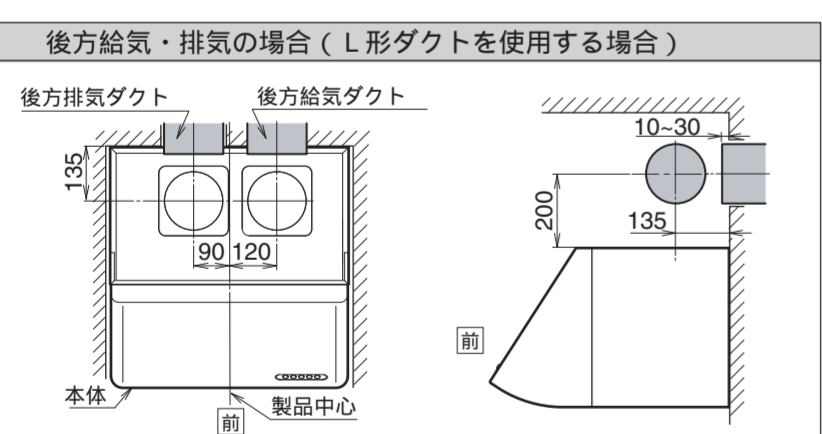
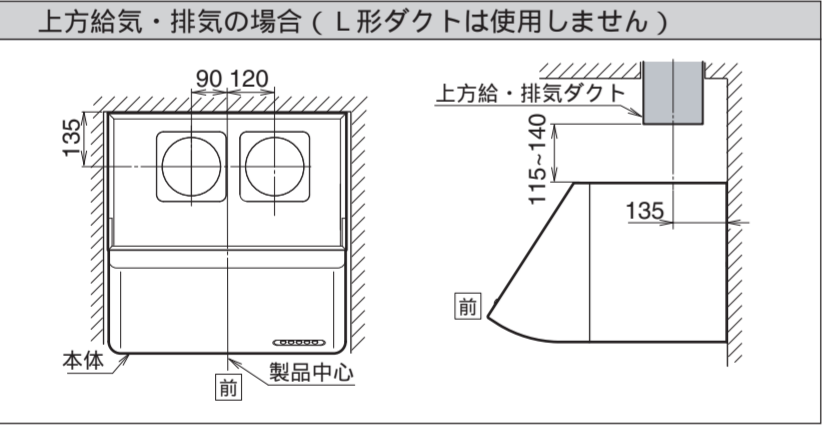
#### 2. 排気方向の決定

##### 警告

- メタルスズ張り、ワイヤス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズ、ワイヤス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること  
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
- 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施工令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと  
火災などの原因となります。
- 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと  
火災・故障の原因となります。

##### 注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと  
感電および故障の原因になります。浴室用換気扇をお使いください。
- 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者(法的有資格者)へ壁穴の開きを依頼してください。  
また、コンセントの位置を確認してください。(「9. 電気配線」図9-1参照)
- 150のステンレスダクト、またはSパイラルダクトをレンジフードファン上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)



**お願!** 本製品は上方または後方のみ給気・排気が可能です。側方の給気・排気はできませんので事前に確認してください。

#### 3. 本体の準備

表面の取り付けかた「3. 本体の準備」をご参照ください。

#### 4. 排気用部品の準備

**お願!** 手でシャッターを開閉すると故障の原因となりますのでお止めください。

上方給気・排気の場合

1 排気口と給気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。(図4-1)

2 給排ボックスを取り付けます。(図4-2)

給排ボックス下側の引掛け部を本体天板の差込口に入れ、付属の取付ねじ(M4×8)4本で固定します。取付方向は右図を参照してください。

3 信号線を接続します。(図4-3)

給排ボックスのコネクタ接続部(4Pコネクタ)に信号線の4Pコネクタ(白・灰・黄・赤)を接続します。

**お願!** コネクタの接続について  
コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。コネクタを確実に接続しないと動作不良や発熱などによる故障の原因となります。

後方給気・排気の場合(別売のL形ダクトを使用します)

1 給排ボックスを取り付け、信号線を接続します。  
上記「上方給気・排気の場合」手順2-3を参照して給排ボックスの取り付け、および信号線の接続を行ってください。

2 給気口・排気口を取り付けます。(図4-4)

給気口と排気口を固定している取付ねじ(M4×8)4本をはずし、給気口と排気口を取りはずします。  
はずしたねじは後で使用しますのでご注意ください。

3 給気口・排気口にソフトテープを貼ります。(図4-5)

給気口と排気口に付属品のソフトテープを貼り付けた後、付属の取付ねじ(M4×8)各4本でL形ダクトにそれぞれ取り付けます。  
給排ボックスへの取り付けは本体の取り付け後に行います。

#### 5. 本体の取り付け

##### 注意

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと  
落下によりけがをすることがあります。
  - 部品の取り付けは確実にを行うこと  
落下によりけがをすることがあります。
  - レンジフードファンの前後および左右方向の水平を確実に出してください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れた油がオイルバックに溜まらず各部のすきまから調理面に滴下することがあります。  
キッチンパネルの上端部をレンジフードファン下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンジフードファンと壁面のすき間に挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因となるおそれがあります。
- 

1 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。(図5-1)

だるま穴位置(左右各1ヶ所)に座付ねじ(5.1×45)を壁面との隙間5mmまで締め付けてください。

2 本体を取り付けます。(図5-2)

だるま穴用座付ねじに吊り金具を引っ掛けた後、しっかりと締め付けてください。

**お願!** 上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

3 本体背面を固定します。(図5-3)

座付ねじ(5.1×45)2本で本体の背面をしっかりと固定します。

#### 6. ダクトと給気用・排気用部品の接続

**お願!** ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターねじが当たらないように、図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。(図6-1)

上方給気・排気の場合(図6-2)

風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。

後方給気・排気の場合(図6-3)

1 給気口と排気口を取り付けたL形ダクトを給排ボックスの差込部に差し込みながら、給気口・排気口をダクトに挿入し、取付ねじ各4本で取り付けてください。

2 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行ってください。  
信号線の取り回しについては補図を参照してください。

排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置取付フード面等が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)を行ってください。  
漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置を行ってください。(図6-4)

#### 7. 前板および給気幕板の取り付け

前板の取り付けについては排気タイプと同様です。  
上記「7. 前板および幕板の取り付け」を参照して取り付けを行ってください。

1 前板を取り付けます。  
前板を給気幕板からはずします。(図7-1)

L形ダクト同梱品の場合はねじ止めされません。

2 本体天板左右2ヶ所の前板締付金具を固定しているねじをゆるめ、給気幕板を前から差し込みます。(図7-2)

3 取付ねじ(M4×8)2本で給気幕板を固定します。(図7-3)

固定できなかった前板締付金具のねじを締め付けます。

4 前ふたの上部を給気幕板に引っ掛け、1)でははずした固定ねじ2本で固定します。(図7-4)

L形ダクト同梱品の場合はねじ2本が付属品に入っています。

給気幕板の取り付けが終わったら、上記「8. 本体部品の組み立て」以降の説明に従い、引き続き取付作業を行ってください。

#### 製品寸法図

